

八街市立実住小学校 P T A

1. はじめに

実住小学校では、通常 4 月に開催される保護者懇談会で新年度の PTA 役員を決定します。今年度は、長引く休校の影響で PTA 総会も書面開催とし、役員選出が出来ないため一切の専門部活動を停止しました。しかし、こんな時だからこそ出来る範囲で PTA 活動を続けていこうと、試行錯誤しながら活動をおこなっています。

2. テーマ設定の理由

コロナ禍において、新しい生活様式の実践が余儀なくされました。PTA 活動においても例年通りの考え方では対応できないため、取り組みを見直していく必要があります。実住小学校では、この活動のピンチを見直しのチャンスと捉え、新しい PTA 活動について考えました。

3. 実践の内容・活動の概要

今年度、実住小学校では通常の専門部活動の代わりとして、登録制の PTA ボランティア組織「実住っ子サポーターズ」を立ち上げました。6 月に全家庭に手紙を配付し、11 月現在で家庭数約 530 に対し、50 名以上の保護者に登録して頂いています。

実住っ子サポーターズは、「出来る人が出来るときに参加しやすい活動」を念頭に仕組みづくりを進めていきました。BAND という無料アプリを使用しており、保護者は、QR コードや参加者からの招待などで登録できます。活動は、本部から活動の案内を送り、ボランティアが内容や都合で参加表明し、参加予定者に詳細を連絡するという流れになっています。お知らせ、参加者集計、当日の連絡などはすべてアプリ上でおこない、作業に関する手紙での連絡や会議など、学校に集まらなければいけない機会を極力減らしました。

細かい議論や調整が必要な作業においては、実住っ子サポーターズ本体から派生する形で作業ごとに別のグループを作成することで、それぞれ必要な情報を効率的に受け取れるように配慮しています。



4. 成果と課題

6 月の開始から、学校で出た資源回収を 2 回、広報紙発行を 1 号、奉仕作業 3 日間、運動会の駐車場誘導をすることが出来ました。延べ 45 名（重複あり）が活動に参加していただきました。通常の役員活動と異なり、年間通してではなくスポットで活動できるので、登録して頂いた方には参加しやすい仕組みになったと思います。その半面、基本的にアプリ上で活動するため、保護者全体への PTA 活動の周知や、新規参加の促進に難しさや課題があります。

今年度は初めての取り組みで必要最小限の活動にとどまっていますが、「出来る人が出来るときに参加しやすい活動」という実住っ子サポーターズの考え方は、専門部活動が再開できる状況になったときも応用できる手ごたえを感じています。課題をひとつひとつ改善しながら、新しい PTA 活動の在り方を模索していきたいと思っています。